

(別添7)

事業所名 グループホーム陽

2 目標達成計画

作成日 平成25年 10月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	23	利用者本位のケアを目指しているが、詳細なその人らしい情報が少なく職員間での情報の共有が不足している。	個別ケアの充実をはかる。	・個別のケアカンファレンス1回/月。朝、夕のミーティングのときに個別に変化があった場合、職員間での情報の共有。 6ヶ月
2	33	重度化、終末期の取り組みについて家族との話し合いは行っているが、職員間で連携、情報の共有ができていないか、疑問である。また、9月より看護師が配置された。	終末期、看取りについて家族と常に話し合い、連携を図る。職員間での情報の共有化。	終末期、看取りケアについての勉強会を行う。ご家族と常にコミュニケーションを図り、看取りについて話し合いを行う。ご家族のご本人の意見を尊重しどのように迎えて頂くかを考える。 6ヶ月
3	36	一人ひとりのプライバシーの確保。人権の尊重する。言葉かけについては常に意識しておかないと利用者を知らないうちに傷つけることがある。	一人ひとりのプライバシーの確保と人権の尊重に努める。	職員間で常に声かけを行い、気づいたら注意をする。毎日のミーティング時に言葉遣い委員会を中心に声かけを行う。 3ヶ月
4	43	殆どの入居者がリハビリパンツを使用している。布パンツを使用している方が4名である。パット使用も殆どが使用。入居者、ご家族の負担がだんだん多くなっている。	排泄における個別ケアの充実。	一人ひとりの排泄パターン把握する。リハビリパンツから布パンツへ変える。トイレ声かけ、誘導を行い失禁を防ぐ。コストの軽減につなげる 6ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。